

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	3 年生	期 別	前期	科目の実務経歴	有
授業科目名	臨床病態論			担当教員	山田 英史		
授業の方法	講 義			単位数	1 単位	時間数	30時間
学修内容	施術者として必要な診察法や検査法の知識を踏まえた上で、その症候に対する施術の適否を判断する能力を身につける。						
授業の到達目標	Ⅲ. 基本的臨床能力 4. 主要症候に対する東洋療法の適否の判断、治療方針・計画を立てる能力を身につける						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第10章 主な症状の診察法 26. 腰下肢痛 27. 関節痛 23. 頸肩腕痛		1			
	2	第10章 主な症状の診察法 22. 肩こり 24. 肩関節痛 25. 上肢痛 28. 運動麻痺		2			
	3	第10章 主な症状の診察法 1. 頭痛 2. 顔面痛 3. 歯痛 4. 眼精疲労		3			
	4	第10章 主な症状の診察法 5. 鼻閉・鼻汁 6. めまい		4			
	5	第10章 主な症状の診察法 7. 耳鳴り 8. 難聴 9. 咳・痰		5			
	6	第10章 主な症状の診察法 10. 息切れ 11. 動悸 12. 胸痛 13. 腹痛		6			
	7	第10章 主な症状の診察法 14. 便秘 15. 下痢 16. 月経異常 17. 不正性器出血		7			
	8	第10章 主な症状の診察法 18. 排尿障害 19. 乏尿・無尿 20. 多尿		8			
	9	第10章 主な症状の診察法 21. 浮腫 29. 食欲不振 30. 肥満 31. やせ（るいそう）		9			
	10	第10章 主な症状の診察法 32. 発熱 33. のぼせ・冷え 34. 不眠		10			
	11	第10章 主な症状の診察法 35. 疲労と倦怠 36. 発疹 37. ショック 38. 出血傾向		11			
	12	第10章 主な症状の診察法 39. 易感染性 40. 貧血 41. 眼振 42. 口渇		12			
	13	第10章 主な症状の診察法 43. 嚔声 44. 嚔下困難 45. 血 痰・咯血 46. 胸水		13			
	14	第10章 主な症状の診察法 47. 悪心・嘔吐 48. 吐血・下血 49. 意識障害		14			
	15	症例による鑑別判断		16			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	中間試験 50% 期末試験 50% の割合で評価します。			実務経験	臨床経験19年 開業歴10年		
履修上の注意	臨床医学総論や臨床医学各論などで習ったことを復習しながら授業に臨む。			授業時間外の学習	授業ごとに復習を行ってください。		
使用教材	東洋療法学校協会 編「臨床医学総論」 臨床家のための基礎からわかる病態生理（医道の日本社） 配布プリント、PowerPoint使用			連絡先	質問または相談があるときは職員室を訪ねてください。（火・金曜日のみ）		